

平成 25 年度 事業計画

I. 基本方針

わが国経済は、長期にわたりデフレの状況にあり、また、国内の「ものづくり」企業は、超円高をはじめ「六重苦」に直面するなど、厳しい状況が続いてきた。

しかし、昨年末に新政権が発足し、経済の再生を最重要課題と位置づけ、経済運営の基本方針、いわゆる「三本の矢」（大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略）が示され、その期待感から、行き過ぎた円高の是正、株価の上昇など明るい兆しが見え始めてきている。

2013 年度については、世界経済の持ち直しや経済対策実施の効果などにより、景気は徐々に回復していくことが期待されるが、超円高を除けば「六重苦」は依然として残っており、また、グローバル競争の激化、日中関係や欧州の信用不安等に対する懸念もあり、引き続き先行きが見通しにくい状況にある。

このような状況の中、中経連は、「ものづくり」、「人づくり」、「地域・街づくり」を強力に推進し、中部圏の更なる発展を目指していくこととする。

まず、「ものづくり」については、中部圏の次代を担う産業の振興を図るとともに、「地域産業」（各地の資源や技術を活かし特色ある「もの」づくりに励む企業群）や「農林水産業」の振興にも取り組んでいくこととする。その際、「ものづくり」の競争力を強化するため、ソフト・サービスを組み込み、お客さまに新たな価値を提案するなど、「ものづくり」を新しいステージへとステップアップさせていくこととする。また、そのために、研究開発力・商品開発力をより一層強化していくこととする。

次に、「人づくり」については、企業の発展に不可欠な「ものづくり」を支える優秀な人材や、世界を相手に活躍できるグローバルな人材を育てていくこととする。一昨年度より多くの大学に入会していただき、交流を促進しているが、引き続き産学の連携を強化し、「人づくり」への取り組みを推進していくこととする。

「地域・街づくり」については、人口減少・高齢社会の到来や、2027 年のリニア中央新幹線の開通を見据え、豊かで住みやすく魅力溢れる中部圏づくりに取り組んでいくこととする。また、南海トラフ巨大地震が想定され、防災・減災に対する取り組みが喫緊の課題となっていることに加え、高度成長を支えてきた社会資本の経年劣化も顕在化しつつある。それらの対応を図る

とともに「ものづくり」を支える社会資本として、高速道路網や港湾、空港等の着実な整備促進に取り組んでいくこととする。

そのため、会員や各地域のニーズを積極的に把握し、「行動する中経連」として、委員会、懇談会活動を活発に行い、国をはじめ関係機関等に対し、提言・要請活動を精力的に実施していく。また、広域経済団体として、連携・交流を促進し、「中部の明るい未来」の実現に向け全力で取り組んでいくこととする。

II. 具体的活動

1. 「ものづくり」産業の振興

◇次代を担う産業の振興

- ①次世代自動車産業
- ②航空宇宙産業
- ③ヘルスケア産業
- ④環境・リサイクル産業
- ⑤観光産業

◇中小企業、地域産業の振興

◇農林水産業の振興

◇エネルギー安定供給の確保

2. 産学連携による「人づくり」の推進

◇産学連携の更なる強化

◇高度人材、グローバル人材育成の推進

◇基礎能力、専門能力育成の推進

◇シニア、女性の更なる活躍の場の創出

3. 安全で魅力溢れる「地域・街づくり」の推進

◇コンパクトシティ化などの推進

◇基幹的社会資本の充実

◇防災・減災対策の推進

◇道州制、地方分権の推進

Ⅲ. 主要事業活動

項 目	活動項目	事業活動内容
中期活動指針 2020		
中経連中期活動指針	○中経連中期活動指針の策定	○2020 年をターゲットとする中期活動指針の策定 (企画委員会)
社会・経済制度等の整備		
調査・研究、提言、要請活動		○経済政策、社会制度、経済法規等に関する調査・研究、提言、要請活動の実施 ・六重苦の解消をはじめ「ものづくりの競争力再生」に向けた要請など (経済委員会) ○産業育成・振興に資する補助制度や税制改正等に関する調査・研究、提言、要請活動の実施 ・「平成 26 年度税制改正要望」 ・研究開発力強化に関する調査・研究など (経済委員会) (税制委員会) (産業委員会)
1. 「ものづくり」産業の振興：次代を担う産業、「ものづくり」を支える中小企業、地域を支える地域産業や農林水産業の振興を支援する。		
①次世代自動車産業	○普及促進に向けた環境整備、社会システムの構築 ○モビリティに関するビジョン策定推進	○各種課題の調査・研究の推進 ○愛知県をモデルに、安全に重点をおいた社会システムの調査・研究の推進 ○「次世代自動車地域産学官フォーラム」(事務局：中部経済産業局)へ参画し、「鉄道などを含めた多様なモビリティに関する社会ビジョン」策定など個別プロジェクトの推進 (産業委員会)
②航空宇宙産業	○低コスト生産、技術レベル向上、国際認証獲得に向けた活動の支援 ○航空宇宙関係行事への協力・支援	○「アジア No.1 航空宇宙産業クラスター形成特区」充実に向けた活動の推進 ○各種課題、支援方策等の調査・研究の推進 ・専門家の育成、研究能力の強化など (航空宇宙特別委員会) ○「第 29 回宇宙技術および科学の国際シンポジウム」(6 月)の支援
③ヘルスケア産業	○中部の「ものづくり」を活かした医療・介護分野における機器・システム産業の振興 ○関係機関・企業等の連携推進	○振興に資する調査・研究の推進 ○医療機器の製造や医療・介護サービスの育成をテーマとする「新ヘルスケア産業フォーラム」(事務局：本会、名古屋大学)、新技術開発、臨床課題解決をテーマとする「中部医療産業化ネットワーク」(事務局：中部経済産業局、名古屋大学)に参画し、医療機関、研究機関、企業間などのマッチングの場の創出を推進 (産業委員会)

項 目	活動項目	事業活動内容
④環境・リサイクル産業	<p>○廃棄物・資源の循環を促す仕組みの検討</p> <p>○中部の環境技術・環境関連商品の国内外への展開支援</p>	<p>○セメント原料等に再利用される廃棄物の循環維持・拡大に向けた検討の推進</p> <p>○廃棄物の更なる有効活用を促進する異業種・異分野交流会の開催</p> <p>○中部の環境技術・環境関連商品等を活かせる情報の収集 (資源・環境委員会)</p> <p>○水の再利用等に関する新たなビジネス展開を目指す「水のいのちものづくり中部フォーラム」を支援</p>
⑤観光産業	<p>○昇龍道プロジェクトの推進</p> <p>○西日本の6経済連合会による連携事業の推進</p>	<p>○東南アジア部会の設立、台湾ミッションの派遣(5月)、日台観光サミット(5月、三重)の支援</p> <p>○「昇龍道百選」選定活動を通じた新たな観光素材の発掘、ルートの開発</p> <p>○外国語表記の拡充、銀聯カード利用施設の拡充、Wi-Fi環境の整備、公共交通共通カードの導入などの推進</p> <p>○報道機関とタイアップした昇龍道PR活動の推進</p> <p>○外国人向け商品造成等の推進 (街づくり・観光委員会)</p>
中小企業、地域産業の振興	<p>○中小企業の振興</p> <p>○地域産業の振興【新規】</p>	<p>○中小企業の経営革新、人材確保支援の調査・研究の推進【新規】 (経済委員会)(企画委員会)</p> <p>○中小企業の支援に資する税制改正要望等の調査・研究、提言、要請活動の実施 (税制委員会)</p> <p>○中小企業の海外進出の支援 ・海外進出に当たってのニーズ、課題等の調査・研究の推進 ・公的機関、金融機関等と連携した海外展開支援セミナーの開催 ・外国人留学生・卒業生ネットワークとの連携強化による人材確保の支援【新規】 (国際交流懇談会)</p> <p>○地域産業振興のための各種支援施策等の実態把握・検討の推進【新規】 (企画委員会)</p>
農林水産業の振興	<p>○農業と企業との協力・連携推進による関連ビジネスの振興</p>	<p>○農業関係者・団体との連携強化による農業の生産性や付加価値の向上、関連ビジネスの振興に資する調査・研究、提言、要請活動の実施 (農商工連携特別委員会)</p>
エネルギー安定供給の確保	<p>○安定的かつ経済的なエネルギー供給に資する活動の推進</p>	<p>○エネルギー政策に関する調査研究、提言、要請活動の実施 (資源・環境委員会)</p>

項 目	活動項目	事業活動内容
2. 産学連携による「人づくり」の推進：中部圏の発展を支える人材の育成を図る。		
<p>○産学連携の更なる強化</p> <p>○高度人材、グローバル人材育成の推進</p> <p>○基礎能力、専門能力育成の推進【新規】</p> <p>○シニア、女性の更なる活躍の場の創出【新規】</p>	<p>○シニア、女性の充実した就労環境の実現【新規】</p>	<p>○会員大学との懇談会の開催【新規】</p> <p>○大学と企業との更なる連携強化に向けた異業種・異分野交流会の開催【新規】</p> <p>○「Next30 産学フォーラム」の開催 (産学連携懇談会)</p> <p>○各種奨学基金など高度人材育成に資する制度の調査・研究の推進</p> <p>○グローバル人材育成に向けた中部圏の大学の新たな取り組みを支援【新規】 (企画委員会)</p> <p>○外国人留学生の就職支援に向けた調査・研究の推進【新規】 (国際交流懇談会)</p> <p>○企業の求める人材の育成に関し、基礎教育・職業教育・高等教育のあり方についての検討の推進【新規】 (企画委員会)</p> <p>○航空機産業の発展に必要な人材を育成する教育体制整備の推進【新規】 (航空宇宙特別委員会)</p> <p>○企業や関係機関等への実態調査および効果的な施策の調査・研究の推進【新規】 (企画委員会)</p>
3. 安全で魅力溢れる「地域・街づくり」の推進：人口減少・高齢社会の到来、リニア中央新幹線の開通など、社会情勢の変化に対応した地域・街づくりを推進する。		
<p>○コンパクトシティ化などの推進</p> <p>○基幹的社会資本の充実</p>	<p>○道路・港湾等の整備推進</p> <p>○中部国際空港（セントレア）の充実促進</p> <p>○今後の施策の検討</p>	<p>○社会状況の変化を見据えた「中部圏のグランドデザイン（仮称）」の策定 (街づくり・観光委員会)</p> <p>○ミッシングリンクの解消等、道路ネットワーク整備の推進（注）</p> <p>○名古屋港、四日市港など主要港湾の機能強化、国際競争力強化に向けた活動の推進 (社会基盤委員会)</p> <p>○セントレアの二本目滑走路整備および完全24時間化実現の推進 (中部国際空港特別委員会)</p> <p>○中部国際空港の利用拡大活動の推進</p> <p>○社会基盤施設の経年劣化対策、既存施設の有効活用など、総合的な社会基盤施設の有効活用に資する調査・研究の推進【新規】 (社会基盤委員会)</p>

項 目	活動項目	事業活動内容
○防災・減災対策の推進	○防災に資する社会インフラの充実促進 ○企業における防災・減災対策の推進	○基幹的広域防災拠点の設置に向けた支援および広域的防災ネットワーク形成の推進 ○「企業防災連絡会」における防災・減災の対応力強化に向けた取り組みの推進 ○「中部圏地震防災基本戦略」（事務局：中部地方整備局）の実現を図るため、中部経済産業局と連携した企業防災・減災と地域連携BCPの普及促進 <p style="text-align: right;">（防災特別委員会）</p> ○防災・減災に関する税制優遇措置の創設に向けた調査・研究、要請活動の実施 <p style="text-align: right;">（税制委員会）</p>
○道州制、地方分権の推進	_____	○中部圏における地方分権のあり方に関する調査・研究、提言の推進 ○行政の広域連携、広域連合に関する中部経済界の意見交換の実施【新規】 ○道州制の動向への適切な対応 <p style="text-align: right;">（地方分権特別委員会）</p>
4. 会員サービス等		
_____	○会員サービスの強化 ○各地域との連携の強化 ○国際交流の推進	○会員増強活動の推進 ○会員懇談会・交流会の開催 ○各種講演会等の開催 ○機関誌「中経連」、ホームページ、メールマガジン等による情報発信機能の強化 ○各県知事、名古屋市長との懇談会の開催 ○各県エリアを担当する中経連職員（各県担当）による地域等のニーズの把握促進 ○各県商工会議所等による「参与会議」の新設、開催【新規】 ○海外経済視察団の派遣 ○外国公館との交流の推進 <p style="text-align: right;">（国際交流懇談会）</p>

注：道路のネットワーク整備

2014年度：新東名高速道路の「浜松いなさ～豊田東」開通

2018年度：新名神高速道路の「四日市北～亀山西」開通、名古屋環状2号線の全線開通

2020年度：東海環状自動車道の全線開通

その他：東海北陸自動車道（完全4車線化）、三遠南信自動車道、紀勢自動車道、中部縦貫自動車道、中部横断自動車道、伊豆縦貫自動車道、名豊道路、西知多道路、霞4号幹線 等